

令和 7 年度

大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題

〔大阪府立水都国際中学校に係る入学者選抜・
大阪府立富田林中学校に係る入学者選抜〕

適性検査 I

(国語的問題)

注 意

1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。

・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、
すべて**解答用紙**の記号を○で囲みなさい。また、答えを
訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

・答えの字数が指定されている問題は、、、。、「」なども
一字に数えます。

解答用紙の「採点」の欄と「採点者記入欄」には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に一、B面に二、C面に三があります。

4 「開始」の合図で、まず、**解答用紙**に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

【解答例】
ア
イ
ウ
エ

| 二 | | | | |
|-----|------|---|---|---|
| 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | b | a |
| 〔あ〕 | 化学反応 | ア | ア | ア |
| 〔い〕 | | イ | イ | イ |
| 〔う〕 | | ウ | ウ | ウ |
| 〔え〕 | | エ | エ | エ |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|--------|
| 5 | 5 | 5 | 3 | 3 | 採点 |
| | | | | | 採点者記入欄 |

| 一 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|---|---|---|---|--------|--------|--------|---|--------|---|
| 6 | | | | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| | | | | | | | | | | c | b | a | | | |
| | | | | | | ア | イ | ウ | エ | レ キ | テ イ | ナ カ | | | |
| | | | | | | | | | | | | | シ | ア ン | ば |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|--------|
| 34 | 6 | 6 | 5 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 採点 |
| | | | | | | | | | 採点者記入欄 |

| 三 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---------|---|--|--|---|-----------|----|----|--|---|---|
| 6 | | | 5 | 4 | 3 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| C | B | A | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 8 | | | 愛媛県の中でも | | | | ア | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 2 | 40 | 20 | | | イ |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | ことがわかります。 | | | | エ | |
| | | | | | | | オ | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|--------|
| 31 | 5 | 5 | 4 | 5 | 7 | 5 | 採点 |
| | | | | | | | 採点者記入欄 |

| 二 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|----|--|--|--|--|--|
| 6 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ア | 30 | | | | | | | | | イ | | | | | | | | |
| ウ | | | | | | | | | | | | エ | オ | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | 55 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|----|---|---|--------|
| 35 | 6 | 8 | 採点 |
| | | | 採点者記入欄 |

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちは会話において、相手が言ったとおりのことを受け取っているわけではありません。

たとえば、窓のすぐそばにいるときに、人から「その窓、開けられる?」と尋ねられたとします。この文は、見た目は「窓を開けられるかどうか」を尋ねる質問ですが、これに対して「はい、開けられますよ」と答えるだけで済ませる人はあまりいないと思います。たいていの人は、すぐに窓を開けてあげるはずですが、それは、この文に「窓を開けて」という*言外の意味があること、つまりこれが実質的に「依頼」であることを理解しているからです。

同様に、会社にかかってきた電話で「〇〇課長はいらっしゃいますか?」と尋ねられたときに、「相手は単に、課長が会社にいるかいないかを尋ねているだけだ」と思う人はほとんどいないと思います。課長がいる場合には、「少々お待ちください」と言って、課長に電話を取り継ぐでしょう。なぜかという点、私たちはこの質問が、実質的には「〇〇課長に取り次いでください」という依頼であることを知っているからです。

こういった言外の意味は、聞き手の側が「なぜ、話し手はこの状況で、このようなことを言うのだろうか。それはおそらく、こういう意図があるからだ」という推測をしていることによって生じています。ただし、以上のような例はナカバ慣習化されたものであるため、そもそも言外の意味であることに気づかない人も多いかと思えます。

しかし中には、文字通りに受け取ったらいいか、言外の意味があると考えるべきなのか分からないケースも多々あります。

そのときにアタナシオスが口にした答えは、「そう遠くにはいない」というものでした。

この答えは嘘ではありません。アタナシオスはその言葉どおりに、追っ手たちから「そう遠くない」ところにいたわけですから。しかし追っ手たちは、まさかアタナシオス本人がそんなことを言っているとは思いません。つまり彼らは、アタナシオスの答えから勝手に「私はアタナシオスではない」という言外の意味を読み取ったわけです。追っ手たちはすぐに他の場所を探しに行きました。アタナシオスは言外の意味を利用することで、「嘘をつかない」という聖職者の*掟を守りつつ、難を逃れることができたのです。

(川添愛『世にもあいまいなことばの秘密』による)

*言外 || 言葉には表されていないところ。

*窮地 || 追いつめられてどうすることもできない苦しい立場。

*聖職者 || ここでは、キリスト教において人々を導き教える立場にある人のこと。

*迫害 || 弱い立場にある者を権力によっておさえつけ、苦しめること。

*掟 || 守らなければいけない決まり。

1 本文中の~~~~線部a~cのカタカナを文脈に合わせて漢字に直し、解答欄の枠内に大きくていねいに書きなさい。

2 次のア~エの語を、国語辞典にのっている順に並べたとき、2番目にくる語はどれですか。ア~エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 質問 イ 少々 ウ 実際 エ 識別

3 本文中の~~~~線部①がさしている内容を、本文中から十一字でぬき出し、はじめの四字を書きなさい。

たとえば、何かお菓子をお菓子を食べているときに、「一緒にいる人から「それ、おいしそうだね」と言われたとしましょう。こういうとき、この人が「そのお菓子をちょうだい」と言っているようにも思えるし、そういう意図はなく、単にそのお菓子について思ったことを言っているだけである可能性もあります。言われた側としては、お菓子をあげた方がいいのか迷ってしまうかもしれません。いずれにしても、言外の意味はあくまで聞き手側が推測するものなので、それが実際に話し手の意図であるという保証はありません。

言外の意味は、状況によって変わってくることもあります。たとえば、もし小さい子どもが保護者に「ケーキを食べたい」と言う場合は、「ケーキを食べさせて」という意味だと受け取ることも多いでしょう。他方、大人の友人どうしで会話をしているときに一方がこのように言う場合は、「今から一緒にケーキを食べに行こう」というテイアンかもしれない。

また、話し手の側からしても、言外の意味がつねに相手に通じるとはかぎりません。以前、小さい子のいる親御さんが、お風呂に入ろうとしないお子さんに「いつまでもお風呂に入らない子はだあれ?」と言ったところ、お子さんが「ぼく」と答えたという話をしていました。親御さんはお子さんに「早くお風呂に入りなさい」と言いたかったのに、お子さんは単なる質問だと受け取ったわけです。

レキシ上には、言外の意味を使って*窮地をしのいだ例もあります。四世紀に活躍した*聖職者アタナシオスは、時の皇帝から*迫害を受けて逃亡していたとき、追っ手に追いつかれそうになりました。あたりは薄暗く、顔の識別ができない中、追っ手たちはアタナシオス本人に「アタナシオスはどこだ」と尋ねます。

4 本文中の~~~~線部②の理由について、筆者はどのように述べていますか。その内容についてまとめた次の文の[A]に入れるのに最も適している言葉を、本文中から十二字でぬき出しなさい。

お子さんが親御さんの言葉を [A] から。

5 次のア~エのうち、本文中で述べられている会話における言外の意味を説明したものとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 話し手が推測することによって聞き手の側に生じるものであり、あまりに慣習化された場合には聞き手の意図に気づきにくいものである。

イ 聞き手の側が話し手の意図を推測することで生じるものであり、同じ言葉でも状況によって意味や受け取り方が変わるものである。

ウ 話し手の意図を聞き手の側が推測することで生じるものであり、話し手の意図が正しく伝わるものがほとんどないものである。

エ 聞き手の意図を話し手の側が推測することで生じるものであり、単純な意味を伝えることがかえって難しくなるものである。

6 本文中の~~~~線部③について、筆者は、アタナシオスが言外の意味を何のために使ったと述べていますか。本文中の言葉を使って、二十字以上、四十字以内で書きなさい。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしたちは光が必要なときに、電気を使います。ガスコンロやストーブに火をつけると、熱といっしょに炎ほらの光が出ますね。このときに使うのは、ガスや灯油などの燃料です。それでは、^①発光生物はどういう「しくみ」で、光をつくりだしているのでしょうか？ もちろん、電気や燃料は使いません。発光生物は化学反応で光をつくりだしています。化学反応というこ

とばを、聞いたことがありますか？ わたしたちの体や身のまわりのものは、*ミクロの目でみると、物質どうしがくっついたり、はなれたりして、べつの物質に変化することをくりかえしています。これが化学反応です。

化学反応には、熱が上がる反応と下がる反応があります。熱が上がると、化学反応の中には、熱だけでなく光が出てくるとくべつな場合があつて、発光生物はこれを利用しているのです。

熱と光が出てくると聞いて、「あれっ？」と思いませんか？ さわつたことがある人もいるでしょうが、光っているホタルの発光器は熱くありません。熱も出る反応なのに、なぜでしょう。

光っている蛍光灯けいこうとうは、さわると少し熱いですね。蛍光灯では、電気のエネルギーが光になる割合はわずか10%くらいで、残りのほとんどは熱になってしまいます。A、発光生物では、化学反応で出てくるエネルギーのだいたい20%から50%くらいが光になります。熱になつてしまう割合がより少ないので、光っている発光器をさわつても熱く感じないのです。

発光生物の光は、とてもエコな光といえますね。

発光の化学反応について、もう少しくわしく解説しましょう。

それについて話すには、まず「ルシフェリン」と「ルシフェラーゼ」ということを説明しなくてはなりません。それぞれをひとことというつと、こうなります。ルシフェリンは、化学反応で酸素とくっつき、

光を出す物質。ルシフェラーゼは、この反応を手助けするタンパク質。

タンパク質は、動物や植物の体を形づくつたり、活動したりすることに必要な大切な成分です。体の中で、たくさんの種類のタンパク質がつくられ、共同ではたらくことで、生き物は生存しています。[あ]発光生物はルシフェリンとルシフェラーゼをもつていて、光るときは、体の中でこの両方がまざつて、化学反応が起きています。[い]実際に、ルシフェリンとルシフェラーゼをホタルから取りだして試験管の中でまぜると、同じように光ります。[う]

試験管の中でつくつた光は、しばらくすると消えます。ルシフェリンが化学反応に使われて、なくなつてしまつたからです。[え]だから、光が消えた試験管にもう一度ルシフェリンをくわえると、また化学反応がはじまつて光ります。

ちなみに、ルシフェリンとルシフェラーゼというよびかたは、古代ローマ人のことばで「光を生じるもの」を意味する「ルシファー」から名づけられました。

発光生物の光るしくみについては、昔からたくさんの科学者が、その解明にチャレンジしてきました。B、しくみが解きあかされた生き物は、ホタル、*ウミホタル、発光細菌さいきん、ウミサボテン（サンゴのなかま）、コペポダ（エビやカニのなかま）、深海エビなど、まだほんのわずかです。つまり、*ホタルミミズやホタルイカ、そのほかのほとんどの発光生物は、くわしい発光のしくみがわからないままなのです。

ここまで読んで、「あれっ？ 発光のしくみは、ルシフェリンとルシフェラーゼの化学反応だと話していたのに、どうしていろんな発光生物のしくみがまだわからない、っていうの？」と思つた人もいるでしょう。

じつは、ルシフェリンというのは、一つの物質の名前ではありません。たとえば、ホタルのルシフェリンとウミホタルのルシフェリンは、まったくことなる物質なのです。同じように、ホタルのルシフェ

ラーゼとウミホタルのルシフェラーゼも、ぜんぜんちがつタンパク質です。だから、ホタルのルシフェリンとウミホタルのルシフェラーゼをまぜても光りません。

つまり、^②ホタルのルシフェリンとルシフェラーゼがわかつて、

ほかの生き物の発光のしくみがわかつてことにはならないのです。それで、発光のしくみがわかつていない生き物は、その生き物を使つているルシフェリンとルシフェラーゼを探すところからはじめなくてはなりません。

発光生物学者のやることは、とうぶんなくなりそうにありません。

(大場裕一『ホタルの光は、なぜだらけ』による)

*ミクロの目でみる || きわめて小さい視点で、部分的に物事をとらえる。
 *ウミホタル || 沿岸の浅い海にすむ、かたい殻におおれた生き物の一種。
 *ホタルミミズ || 地中にすむ、小型のミミズの種類。

1 本文中の——線部 a、b それぞれと、音読みと訓読みの組み合わせが同じものを、次のア～エから一つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 自覚
- イ 場所
- ウ 野原
- エ 仕事

2 次のア～エのうち、本文中の A、B に入れる言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア A いっぱう B なぜなら
- イ A いっぱう B ところが
- ウ A つまり B なぜなら
- エ A つまり B ところが

3 本文中に——線部①とありますが、発光生物は光をつくりだすためにどのような化学反応を利用していますか。「化学反応」につながるように、本文中から八字でぬき出しなさい。

4 次の一文は本文中の「あ」～「え」のいずれかに入ります。入る場所として最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

いっぼうのルシフェラーゼは、反応の手助けをするだけなので、なくなることはありません。

5 本文中の——線部②について、筆者がどのように述べているのなぜですか。本文中の言葉を使って、三十文字以上、五十文字以内で書きなさい。

6 次のア～オのうち、本文中で述べられている内容と合うものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 光っている蛍光灯では、電気のエネルギーの10%くらいが光になり、残りのほとんどは熱になっている。
- イ 光っている発光器をさわると熱く感じられるので、発光生物の光は人間のつくる光よりもエコな光だといえる。
- ウ ルシフェリンとルシフェラーゼが体の中でくっついてべつの物質に変化することで、発光生物の光はつくりだされる。
- エ 生物の発光に使われるルシフェリンとルシフェラーゼは、「光を生じるもの」という意味のことばから名づけられた。
- オ 生物の発光のしくみの研究が進み、発光生物のごく一部しか発光に化学反応を利用していないことが解明された。

三 木村さんは、身近な食べ物の中で興味をもったものについて調べ、学級でスピーチをすることになりました。次の【発表原稿の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【発表原稿の下書き】

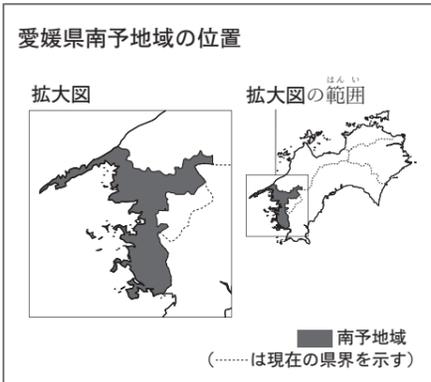
みなさんはみかんは好きですか。私はみかんが大好きです。私の祖父は【資料1】に示されている愛媛県の南予地域でみかん農家をしています。南予地域のみかんはとてもおいしく、ペリッと音をたてながら皮をむくと、さわやかな香り、口に入れた時にふわっと広がる甘味と酸味、ぷるんとした食感などが楽しめます。このことから、私は南予地域のみかんがなぜおいしいのかについて興味をもちました。みかんがおいしく育つ土地の条件についてインターネットで調べたところ、「土が適度に乾燥し、日当たりのよい、傾斜がある土地がみかん作りによいとされており、みかんの主要な産地においては傾斜がある土地のみかん畑が作られていることが多い。」ということが書かれていました。そこで、このことが南予地域のみかん畑にもあてはまるのか確認しようと考えました。

最初に、傾斜について調べてみました。【資料2】をみてください。一枚の絵のように美しい風景だと思いませんか。こちらは、南予地域のみかん畑の写真です。急な傾斜がある土地のみかん畑が作られていることがわかります。次に、【資料3】をみてください。こちらはみかんの主要な産地のみかん畑をその傾斜度によってわけた面積の割合を示した資料です。なお、傾斜度とは土地のかたむきの度合いを表していて、例えば、傾斜度が15度というのは、約四メートルで一メートル上昇する傾斜をさし、かたむきが急であることを意味しています。かなりの傾斜ですよ。【資料3】に示されているみかんの主要な産地においては、傾斜度が15度以上のみかん畑の面積の割合が少なくとも35%もあり、愛媛県では68%となっています。そして、愛媛県の

し、畑の場所の条件に合う品種のかんきつ類を植えるという努力をしているということでした。

これらのことから、(A)があることや、(B)がよいことや、土が適度に乾燥しているという土地の条件だけでなく、研究者や農家の人たちの協力による(C)などが、南予地域のみかん作りを支えていることがわかりました。これからも興味をもった身近な食べ物について調べてみたいと思います。

【資料1】



【資料2】



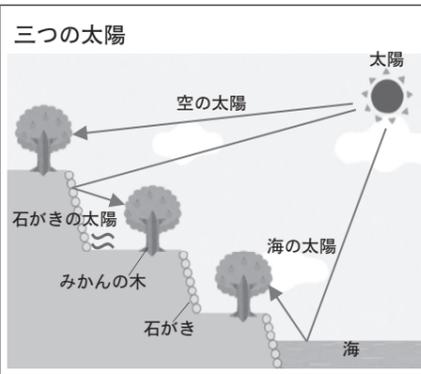
【資料3】

みかんの主要な産地におけるみかん畑の*傾斜度別面積比率

| 産地 | 傾斜度別面積比率 (%) | | |
|------|--------------|-----------|-------|
| | 5度未満 | 5度以上15度未満 | 15度以上 |
| 愛媛県 | 11 | 21 | 68 |
| 南予地域 | 5 | 24 | 71 |
| 和歌山県 | 20 | 26 | 54 |
| 静岡県 | 28 | 37 | 35 |
| 熊本県 | 16 | 44 | 40 |

*土地のかたむきの度合いによってわけた面積の割合

【資料4】



【資料1】、【資料2】、【資料3】、【資料4】のいずれも農林水産省の資料により作成

あ

中でも [] があります。傾斜がある土地であるという条件は、南予地域のみかん畑にあてはまっていた。次に、南予地域の日当たりについて調べてみました。【資料2】をみると、海沿いの山の頂上まで石がきが階段のように築かれており、一つ一つの段に畑があることがわかります。このような畑のことを段々畑といい、南予地域のみかんが育てられている段々畑には「三つの太陽」があるといわれています。それでは、「三つの太陽」とは何でしょうか。【資料4】を使って説明します。まず、「空の太陽」とありますが、こちらは太陽からの直射日光のことです。次に、「海の太陽」とありますが、こちらは海面で反射した光のことです。最後に、「石がきの太陽」とありますが、こちらは段々畑の石がきで反射した光と太陽に温められた石がきから放出される熱のことです。これらの「三つの太陽」があることが、みかんの木に当たる太陽の光の増加や地温の上昇による畑の土の乾燥につながり、みかんをおいしく育つということでした。土が適度に乾燥し日当たりのよい土地であることも、南予地域のみかん畑にあてはまっていました。

南予地域のみかんがなぜおいしいのか疑問をもち調べたことで、みかんのおいしさにはさまざまなことが関係していることを知りました。ただ、ここまで調べる中で、新たな疑問がわいてきました。もう一度【資料1】と【資料2】をみてください。先ほど、 [] ということをお伝えしましたが、南予地域は海岸線が複雑に入り組んでおり、傾斜がある土地であったとしても、方位や土地の高さなどによって、日当たりなどの条件が変わることが考えられます。それにもかかわらず、南予地域のみかんがおいしいのはなぜなのかについて調べてみたところ、工夫の一つに品種開発があるということがわかりました。実際に、研究者や農家の人たちが協力して、約二〇〇種類の、みかんを含むかんきつ類を開発

1 次のア～オのうち、【発表原稿の下書き】中の木村さんの発表の工夫として誤っているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 音を表す言葉や様子を表す言葉を使っている。
- イ 聞き手に対して質問を投げかけている。
- ウ 人の主張と自分の主張を比較して述べている。
- エ 順序を示す言葉を使って説明している。
- オ 比喩を使って表現している。

2 【発表原稿の下書き】中の [あ] には【資料3】から読み取れる内容が入ります。 [あ] に入る内容を、前後の内容から考えて、数値を用いて、二十字以上、四十字以内で書きなさい。ただし、数値を用いる際には、次のように書きなさい。

(例) [10] [度] [50] [%]

3 木村さんは発表のリハーサル後に、友だちから【発表原稿の下書き】中の [] 線部①の意味が聞いたときにわかりづらかったという感想をもらいました。聞いたときにわかりやすくするように、 [] 線部①を、五字以内で書き直しなさい。

4 【発表原稿の下書き】中の [] 線部②の「みかんを」と「育つ」は適切に対応していません。「育つ」の部分適切な形に書き直しなさい。

5 【発表原稿の下書き】中の [い] に入れるのに最も適している言葉を、前後の内容から考えて、【発表原稿の下書き】中から十六字でぬき出し、はじめの八字を書きなさい。

6 【発表原稿の下書き】中の (A) (B) (C) に入れるのに最も適している言葉を、【発表原稿の下書き】中からそれぞれぬき出しなさい。ただし、(A) は二字、(B) は四字、(C) は四字でぬき出すこと。

